

新たな大学間・部局間学術交流協定

■ スブラス・マレット大学(インドネシア)と大学間学術交流協定を締結

本学は、2013年7月、インドネシアのスブラス・マレット大学と大学間学術交流協定を締結しました。1976年に創設されたスブラス・マレット大学は中央ジャワの古都ソロ(スラカルタ)に位置しており、インドネシア国内でも人気の高い大学として有名です。学生のための宿舎、医療保健センター、スポーツ関連施設、図書館、福利厚生施設等も充実しています。また、情報関連施設の整備も進み、各学部でインターネットによるE-learning教育も実施されています。

本学とは、2012年3月に応用生物科学部及び連合農学研究科とそれぞれ部局間学術交流協定を締結し、学部生・大学院生を対象とした連携講義等を実施してきました。この協定の締結により、本学の大学間学術交流協定大学は44大学となりました。



■ 工学部がカルロス3世大学(スペイン)工学部、マレーシア国民大学(マレーシア)理工学部と部局間学術交流協定を締結

本学工学部は、2013年7月にスペインのカルロス3世大学工学部と、2014年1月にマレーシア国民大学理工学部と、部局間学術交流協定を締結しました。

カルロス3世大学は社会科学・法学、人文科学、工学の3学部から構成される総合大学であり、卒業後は約20%の学生が大学院へ進学する研究志向の大学です。学部プログラムは、完全に欧州高等教育圏(ボローニャプロセス)の要件に適合して講義の多くが英語により実施されています。また、350校以上の大学と国際交流協定を締結しており、毎年約1000名の学生を送り出しています。工学分野では航空、生物医学、エネルギー、電気、制御、機械、コンピュータ、材料、通信、工業技術に関する学科があり、企業との共同研究や技術移転も盛んに行われています。今後は協定に基づき、学術研究、人材育成等について連携・協力の推進に努めます。

マレーシア国民大学は、マレーシア国民の熱意と支援によって1970年に設立された、マレーシアを代表する5つの研究大学の1つであり、首都クアラルンプールの南東約35キロのスランゴール州バンギに位置します。創立以来、研究やアカデミックなプログラム、コミュニティへの関与と国際化への優れた実績で、国内外から高い評価を得ています。13の学部を有する総合大学である同大学の中でも、理工学部は最大の学部であり、今後は、教職員や学生の活発な交流による教育・研究活動の活性化が期待されます。



海外オフィスより

■ ダッカオフィス(バングラデシュ)がダッカ大学内へ移転

岐阜大学ダッカオフィスは2009年8月の設立以来、ダッカ市内のオフィスビル内に設置されていましたが、2013年7月に、本学の大学間学術交流協定大学のダッカ大学内へ移転しました。新しいダッカオフィスの木製看板は、下呂市にある応用生物科学部附属の位山演習林の協力により作成されました。この贈呈式は、東南アジア・南アジア地域の11大学が参加した第2回UGSAS-GUラウンドテーブル&シンポジウム2013が本学で開催中の7月3日に行われ、小見山国際戦略本部長により手渡されました。本学と深い交流のあるダッカ大学内へ移転したことで、今後の教育・研究交流に向けたダッカオフィスの更なる活用が期待されます。



■ 上海オフィス(中国)の活動紹介

岐阜大学上海オフィス ユーピン 于平

岐阜大学上海事務所は2009年5月11日に中国・上海市に設立されました。

業務内容はだまかに3つ、①岐阜大学と中国の大学・研究機関との国際学術交流の促進に関すること、②岐阜大学と中国の協定機関等との共同教育プログラムに関すること、③その他岐阜大学が必要と認める連携・協力に関することです。

設立後の主な活動として、中国の大学、高校、日本語専門学校等へ岐阜大学の留学資料を郵送したり、中国国内で開催される日本留学展へ出展したりしています。また、岐阜大学への入学希望者情報の報告や、中国(上海)を訪れる岐阜大学の教員への業務協力も行います。

特に、日本留学展については、これまで上海近郊・中国各地で開催された10以上の留学展に出展し、数多くの中国人学生に岐阜大学を広報してきました。今後は、そうした広報活動によって得た入学希望者情報を有効に活用していくことが課題です。(※写真:2013年上海日本留学フェア。後列左が筆者)



国際週間

平成25年度、国際戦略本部は、昨年度に引き続き「春の国際週間」および「秋の国際週間」を実施しました。11月に行われた「秋の国際週間」では、学生の目を海外へ向けさせることを目的とし、様々な国際交流行事を集中して行いました。今後も各学部や協力機関と連携しながらこれらの内容を充実させ、本学の国際化の促進を目指します。

■ 秋の国際週間

1. ポスターセッション(11月5日~26日)

大学生協第1食堂の一角を利用し、外国人留学生によるポスターセッションを開催しました。イラン、スペイン、インドネシア、ベトナム、クロアチア出身の留学生達が、母国の美しい景色や食べ物等について写真を交えて紹介するとともに、それぞれが日本に来て驚いたこと等についてのインタビューが、日本語・英語併記で掲示されました。

また、日本人学生に向けた海外留学情報や、各国の協定大学から取り寄せたパンフレット等も設置され、訪れる学生の目を引きました。



2. 留学生等と地元企業との交流会(11月13日)

外国人留学生等が地元企業を知る機会を提供するため、岐阜信用金庫の協力による交流会を開催しました。本交流会には、岐阜周辺地域の企業15社が参加し、各社の業務内容や海外進出の状況についてのプレゼンテーションを行った後、懇親会を行い、本学の外国人留学生及び日本人学生と交流しました。



3. 岐阜大学世界とつながる講演会(11月15日)

インドネシアの日本大使館や高等教育分野での勤務経験を持つ平中英二氏(現・三菱UFJ信託銀行本店営業部業務顧問)を講師に迎え、講演会「今なゼインドネシアなのか」を開催しました。講演内容は、インドネシアの歴史、文化、地理的特性から政治、経済など多岐に渡り、学内外の約70名の参加者は興味深く耳を傾けていました。



4. スペシャル・ラウンジ(11月18日)

本学で毎月実施しているイングリッシュ・ラウンジの特別版として、日本語、フランス語及び朝鮮・韓国語のスペシャル・ラウンジを実施しました。約30名の参加者が好きな言語のグループに分かれ、ネイティブ・スピーカーから基礎知識を学ぶ一方、外国人留学生は日本人学生らと日本語会話を楽しみました。



5. 岐阜大学国際交流支援団体との交流会(11月20日)

本学の外国人留学生を支援する地域の企業や国際交流団体に感謝の意を表すため、各団体を招いて本学教職員及び外国人留学生との交流会を行いました。今回で第17回目となるこの交流会では、森学長の挨拶、小見山国際戦略本部長による本学の国際交流活動についての報告の後、国際戦略本部の鈴木副本部長による講演「国際化における大学と地域の連携」が行われました。懇親会では、イラン人留学生によるプレゼンテーションが場を盛り上げました。



6. ポットラックパーティー(11月22日)

国際週間の締めくくりとして、毎年恒例のポットラックパーティー(各自持ち寄り式のパーティー)が行われ、43名が参加しました。学内の日本人学生、外国人留学生、教職員、外国人研究者やその家族らが、それぞれ持ち寄った食べ物を囲み、外国語や日本語による交流を楽しみました。また、毎回好評のラッフル(慈善福引)では4,500円が集まり、全額が日本赤十字社の2013年フィリピン台風救援金に寄附されました。



外国人留学生からのメッセージ



私の日本の生活

教育学研究科 教科教育専攻・英語教育専修 研究生 **Posta Silvija** クロアチア

私は日本へ2012年の10月に来ました。日本の文化と生活は私の国とくらべてみればとてもちがいます。私は日本に来る前にあまり心配しませんでした。日本の文化と生活が私の国とくらべてとてもちがいますから、いろいろとびっくりしたことがありました。

母国では、私は英語の教師です。日本では文部科学省の教員養成のプログラム留学生です。このプログラムは全部で一年半かかります。最初に、日本語を初めて勉強していました。そのコースは忙しくて、新幹線のようなはやいコースでした。はやくても、日本語がだんだんわかるようになりました。簡単な日本語でしたが、私はうれしかった。いまでも日本語といえば一番難しいのは漢字の覚え方です。

あとは岐阜大学で学生といっしょに英語のきょういくを勉強したり、いろいろな学校へ英語のこうぎを見学に行ったりしました。その時、新しい英語のおしえかたをみました。生徒達が英語でいろいろな面白いアクティビティをしながら、英語を勉強していました。英語が好きそうでした。生徒は私が「英語人」のような人になている(※1)と言いました。面白かった。岐阜では初めて日本の文化を知りました。岐阜大学祭の

時初めて着物を着て、たくさん写真を撮りました。私の家族と友達はこの写真を見て、とてもイキゾチックだと言いました。私が勉強したものの中には茶道と合気道もあります。茶道をするときは心静かになります。合気道には便利なスキルもありますが、毎日使わないほうがいいと思います。岐阜の伝統文化と言えば、うかいと、かきと、釣り灯笼です。釣り灯笼のつくりかたをみて、びっくりしました。一個をつくるのは一時間ぐらいもかかります。つくるときは辛抱と精度が必要です。うかいを見ることは楽しかったです。

日本の文化に興味を持ち、勉強したい、経験したいことがいっぱいありますが、私はもうすぐ国へ帰らなければなりません。しかし、今まで触れた日本の文化と親切な人に対する思い出を国へ持って帰ります。

(※1編集部注:まるで英語を母国語とする人のようだと生徒が言った言葉)



留学を楽しむ

工学研究科博士前期課程 機械システム工学専攻 2年 **Song Byungsoo** 韓国

私たちの周りで、自分の夢のために留学を考えている人や計画を立てている人、留学生活が始まる人、留学している人、終わる人など、留学に関わっている人たちを探することは昔のように難しいことではないと思います。

しかしながら、留学を軽く考えると自分の時間と努力が無駄になりやすいです。それで、私の3年間の留学生生活を顧みて岐阜大学への留学経験を述べ、皆さんに役に立ててほしいです。

まず、留学の目的と目標をはっきりした方が良いと思います。私は岐阜大学と学術交流協定大学になっているソウル科学技術大学に通いました。学部3年生の頃、就職や将来のことを考え始めました。学部で生産工学、金型の勉強を中心にしていましたので、自然に韓国より優れた技術を持っているアメリカやドイツ、日本に注目しました。そうしているうちに、交流協定大学の岐阜大学が文部科学省の支援で優秀な金型技術の実績があることが分かりました。それで、岐阜大学の交換留学生を申請し、1年間の日本語勉強をしながら専攻授業も聞きました。あまり日本語が上達していない状態で留学に来ましたので授業や生活面では大変でしたが、色々な人たちから手伝ってもらって楽しい留学生生活を過ごしました。その素晴らしい経験から岐阜大学への大学院進学も決心しました。

次は、勉強も遊びも積極的にして様々な経験を積み重ねることです。留学生活が必ず成功の道に進むわけではありません。もちろん失敗して母国に帰ったり、意味がない留学生活をしている人たちもいます。私から見た限り、留学を失敗しやすい人たちの特徴は極端に勉強ばかりするタイプと遊びすぎるタイプの人です。勉強は学生の本分として当たり前ですが、留学という特殊な時は遊びもある程度は要すると思います。留学している国の慣習や雰囲気、色々な情報などを得るためには、外に出て友達を作ったり積極的に自ら言葉を交わしたりすることが重要で、その訓練が語彙を豊かにします。逆に、遊びすぎると留学の意味がなくなり、単にお金や時間を無駄にする長い観光に過ぎないです。そのバランスを取ることが留学を成功に導くポイントになると思います。

最後に留学というものを楽しんでください。70億の人口の中で、留学という経験を味わった人は本当に幸運の者です。その素晴らしい機会を自ら作って実行して楽しむことで、自分の夢に一歩近づいている自分が発見できると思います。



交換留学体験記



変わらなかったことはなんだろう

教育学部 英語教育講座4年 **金武 李佳**
米国サンディエゴ州立大学へ留学中

私がサンディエゴでの生活を始めてから5か月ほど経ちました(※2)。今は冬休みに入ったので、旅行をしたり、来学期の授業の準備をしたりして過ごしています。初めてのうちは初めてのことばかりだったここでの生活にもだんだんと慣れてきました。来学期からは新しく、ホームレスや、虐待を受けた女性と子どものためのシェルターでボランティアを始める予定です。

留学をして変わったかというのはいろいろな場面で尋ねられると思うので、留学期間の折り返しにある今の自分の場合はどうかと考えてみると、どちらかという自分の中にあるどうしても変わらない部分に気づかされた、という感じが強いと思いました。場所が変わっても一緒に過ごす人が変わっても言葉が変わっても、良くも悪くもそういう部分を自分が持っていたことは驚きでした。それは今まで日本で生活してきて海外で生活を始めたのが20歳という年齢を過ぎてからであったからなのか、元来

そういうものがあつたからなのかはわかりません。とにかく、変えられない部分は、自分にとって大切な部分と言い換えられると思っています。がらりと変わった環境の中で、自分にとって何が大切なのかに関するヒントのようなものが、日本にいたときよりもわかりやすくなったのだと思います。

留学が始まってからあつという間でしたが自分にとって発見の多い5か月でした。4人の生まれも文化もそれぞれ異なるルームメイトたちと暮らした生活も、毎日いろいろな出来事があって楽しく刺激がたくさんありました。今年は日本の大学院のための受験勉強が控えているので、アメリカでの生活と勉強との両立にチャレンジしていきたいと思っています。

(※2編集部注:原稿執筆時は2014年1月上旬)



国際交流事業に御協力いただいた団体(2011年～2013年)

公益財団法人味の素奨学会
 イベデン株式会社
 一般財団法人井上国際交流基金
 株式会社エヌテック
 株式会社大垣共立銀行
 北方自動車学校
 財団法人岐阜県環境管理技術センター
 公益財団法人岐阜県国際交流センター
 岐阜県国際交流団体協議会
 岐阜市青年団OB会
 岐阜市役所商工観光部
 岐阜信用金庫
 岐阜ゾンタクラブ
 岐阜長良川ユネスコ協会
 岐阜西ロータリークラブ
 岐阜東ロータリークラブ
 岐阜南ライオンズクラブ
 郡上八幡国際友好協会
 財団法人交流協会

国際交流の輪∞黒野
 国際ソロプチミスト岐阜
 サンメッセ株式会社
 株式会社ジャパンプランツ
 株式会社十六銀行
 株式会社スギヤマメカレトロ
 西濃華陽観光バス株式会社
 太平洋工業株式会社
 公益財団法人田口福寿会
 公益財団法人朝鮮奨学会
 長良製紙株式会社
 ハートランス株式会社
 公益財団法人服部国際奨学財団
 公益財団法人平和中島財団
 三田洞自動車学校
 三菱商事株式会社
 NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド
 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

本学の国際交流事業は、以上の企業・団体からの御寄附及び御協力により運営されております。(50音順・敬称略)

留学生参加の国際交流活動を実施された団体

NPO 法人国際文化友好協会
 一宮市国際交流協会
 JAPAN TENT 開催委員会
 富加の青少年を育てる会
 廿日市市国際交流協会
 大野きょうだい会
 せびあ会
 グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会
 名古屋ホームステイボランティアセンター
 独立行政法人国立青少年教育振興機構

岐阜県商工労働部観光課
 奈良県教育振興課
 第一ブロック青少年育成市民会議
 ぎふ善意通訳ガイドネットワーク
 岐阜モンゴル文化協会
 岐阜県日本中国友好協会
 女性医師就労支援の会
 公益財団法人オイスカ岐阜県支部
 岐阜フラッグアート展実行委員会
 羽島市国際交流協会

本学は、以上の団体が実施された国際交流活動に留学生の派遣を行いました。(順不同・敬称略)

岐阜大学基金(国際交流事業)への御協力をお願い

岐阜大学における国際交流を充実・発展させるために、岐阜大学基金(国際交流事業)への御寄附をお願いいたします。寄附申込書を以下の【岐阜大学基金URL】から入手いただき、「寄附目的」の欄「その他」にチェックを入れ、「国際交流事業」と記入いただきますと、本学の国際交流事業への寄附金として取り扱われます。主な国際交流事業として、私費外国人留学生学資援助金、研究者交流助成、短期留学(派遣)奨学金、異文化交流事業等を行っております。

岐阜大学基金URL : <https://www.gifu-u.ac.jp/view.rbz?cd=1012>

本学への寄附金は、所得税法第78条第2項第2号及び法人税法第37条第3項第2号に基づき、財務大臣が指定した寄附金(昭和40年4月30日大蔵省告示154号)に該当するもので、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金または法人税法上全額損算入を認める指定寄附金として財務大臣から取り扱われます。

編集：岐阜大学国際戦略本部

事務局 学術国際部国際企画課(本学の国際交流全般に関すること)

■TEL : 058-293-3350 ■FAX : 058-293-2143 ■Email : int_exch@gifu-u.ac.jp

学術国際部国際企画課 留学生支援室(外国人留学生や海外留学に関すること)

■TEL : 058-293-2139/2137 ■FAX : 058-293-2143 ■Email : direcent@gifu-u.ac.jp

本誌は、岐阜大学ホームページ上で公開しています。

岐阜大学国際交流ニューズレター URL : <https://www.gifu-u.ac.jp/view.rbz?nd=250&cd=257&ik=1&cf=1&pnp=166>

岐阜大学ホームページ → 国際交流 → NEWSLETTER